

TECH 21

NEW YORK CITY

GEDDY LEE SIGNATURE AMALGAMATION CHORUS

■ Tech 21について

Tech 21は、優れた聴覚と電子工学の専門知識という、類まれな組み合わせを持つギタリストによって設立されました。1989年、B. Andrew Barta はTech 21 を法人化し、彼独自の発明を世界中のプレイヤーやスタジオに向けて商品化しました。高く評価されている100%アナログのSansAmp は、レコーディングでのダイレクト録音やライブ演奏におけるチューブアンプ・エミュレーションをプロフェッショナル用途で切り開き、まったく新しいシグナルプロセッシングのカテゴリーを生み出しました。現在ではこの分野に多くの製品が登場していますが、SansAmp は今なお業界標準としての評価を維持しています。Tech 21 の各製品は、プレイヤーのことを念頭に置き、Andrew自身によって丁寧に設計されています。私たちの目標は、プレイヤー一人ひとりのサウンドを育て、コントロールし、磨き上げ、再定義するための、柔軟で多用途なツールを提供することです。Tech 21は、スタジオからスタジオへ、クラブからクラブへ、アリーナからアリーナへ、一貫したプロフェッショナル品質のサウンドを届けることに大きな誇りを持っています。

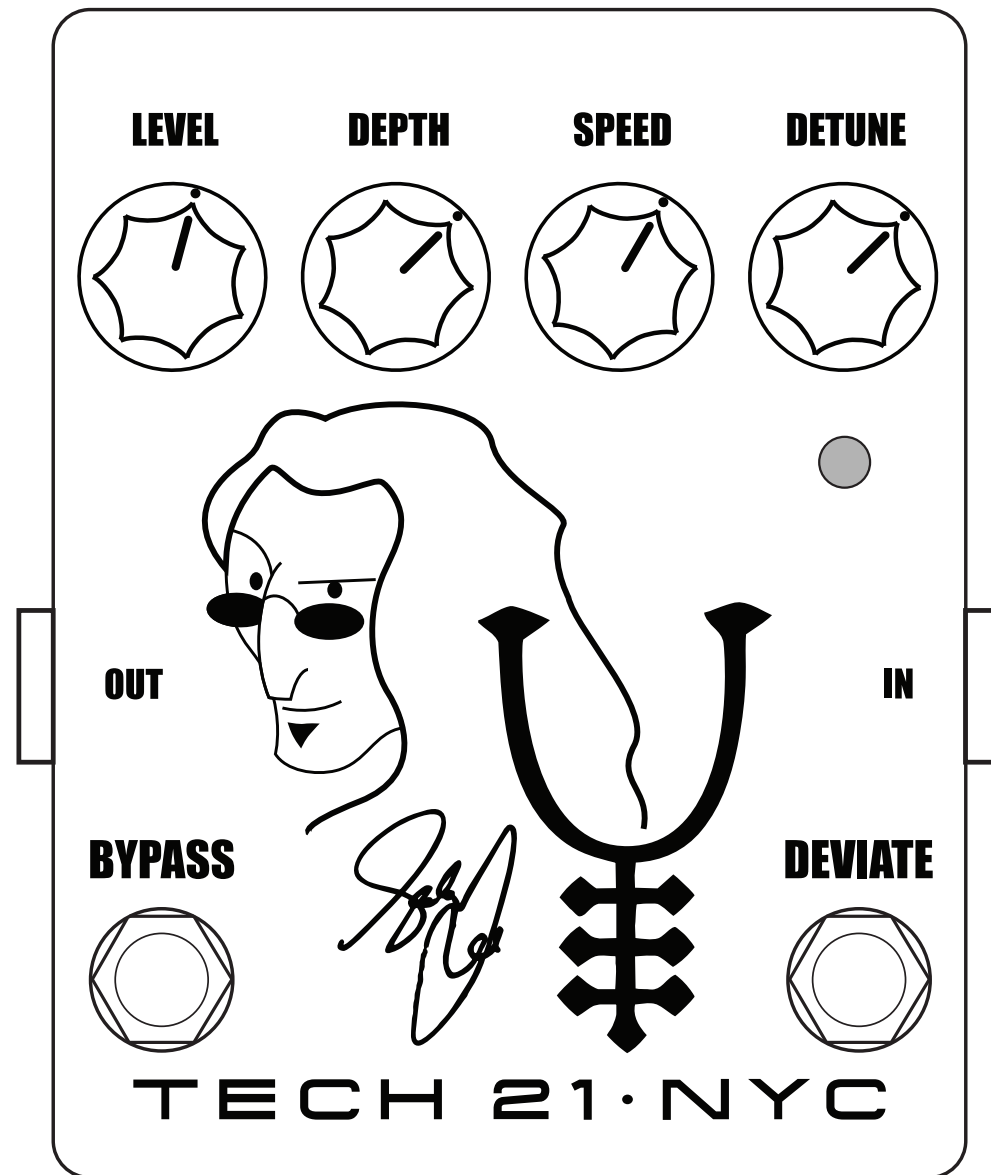
■ 製品概要

Geddy Lee Signature Amalgamation Chorus は、その名の通り、ベース向けに特化して設計されています。そしてもちろん、ゲディー本人の貴重な意見を取り入れて作られています。コンパクトなペダル筐体に収められた Geddy Lee Signature Amalgamation Chorus は、多彩なコーラス・エフェクトを生み出すための、非常に高い柔軟性を備えています。通常であればプロ・スタジオでなければ得られないようなコーラス・トーンを再現することが可能です。Detune コントロールにより、コーラス・ボイスのピッチを調整できます。音に厚みを加え、ベースに適したリッチで豊かなコーラス・サウンドを作り出します。

Deviate モードをオンにすると、Detune機能の働きが変化し、さらにもう1つのボイスが加わることで、まるで3人が同時に演奏しているかのような、より深みのあるサウンドが得られます。

Speed とDepth はモジュレーションを調整します。落ち着いた揺れから、少し酔ったような揺れ、さらには大きく“よろめく”ような揺れまで、幅広くコントロールできます。

Tech 21 のすべての製品と同様に、本機のコントロールは、ただ1種類の音だけを作るためのものではありません。プレイヤーが求めるサウンドを柔軟に得られるよう設計されています。Geddy Lee Signature Amalgamation Chorus が、あなたの創造力を刺激し、最高の演奏を引き出すインスピレーションとなることを願っています。



■ 入出力端子

• 1/4” INPUT

1MΩのハイ・インピーダンス入力です。また、バッテリー電源のオン / オフも兼ねています。バッテリー消費を防ぐため、使用しないときはプラグを抜いてください。

• 1/4” OUTPUT

1kΩのロー・インピーダンス出力により、長いケーブルを使用しても信号の劣化を抑えます。バイパス時でも信号の整合性を保ちます。

■ 入力信号レベル / 接続について

Geddy Lee Signature Amalgamation Chorus は、ギター / ベースの出力やディストーション・ペダルなど、楽器レベルの信号をInputに入力することを想定して設計されています。通常の使用では、Inputに送る信号レベルは標準的なエレクトリック・ギター / ベースと同程度、約-10dBm / 250mVが適しています。ラインレベルの信号を入力しても Amalgamation Chorus が破損することはありませんが、得られるサウンドが望ましいものにならない場合があります。

■ 接続順について

一般的には、コンプレッサー、オーバードライブ、ワウなどの音色を変化させるエフェクトは SansAmp、または他のアンプ・エミュレーターの前に接続することをおすすめします。コーラス、リバーブ、ディレイなどの空間系エフェクトは、その後に接続するのが基本です。ただし、厳密なルールはありません。エフェクトの接続順をいろいろ試し、最も良いと感じる組み合わせが“正しい”接続です。従来型のアンプで使用する場合は、以下の点を参考にしてください。

1) アンプのエフェクトループに接続する場合

アンプのエフェクトループは多くの場合トーン補正、コンプレッション、歪みの後段に配置される為、エフェクト本来のサウンドを最もクリーンかつ正確に再現できます。

注意：アンプのエフェクトループによってはラインレベルの場合があり、その場合 Geddy Lee Signature Amalgamation Chorus が歪む可能性があります。また、信号が圧縮され、出力が下がる場合もあります。ミキシング・ボードでも同様のことが起こる可能性があります。そのため、レベル・マッチング・トランスが必要になる場合があります。

2) SansAmp またはディストーション・ペダルの後に接続し、アンプへ入力する場合

アンプを完全にクリーンな設定にすることで、エフェクトループに接続した場合に近い結果を得ることができます。

■ コントロールガイド

• DETUNE

コーラス・ボイスのピッチを上下にシフトします。

つまみを上げるとピッチは上がり、シャープ方向に変化します。

つまみを下げるとピッチは下がり、フラット方向に変化します。

12時位置ではピッチシフトは行われません。

SpeedとDepthを最小にした状態でも、Detuneコントロールを使うことで、モジュレーションを伴わないコーラス・サウンドを作ることができます。

Detune設定のヒント

ヴィンテージ・コーラス・サウンドを得たい場合は、Detuneを12時位置に設定し、SpeedとDepthでモジュレーションを加えてください。

• SPEED

モジュレーションのスピードを0.2Hzから10Hzの範囲でコントロールします。

• DEPTH

モジュレーションの深さをコントロールします。設定を上げるほど、より大きく“揺れる”サウンドになります。

• LEVEL

コーラス・ペダルにはあまり搭載されていないレベル・コントロールです。エフェクトをオンにした際に起こりがちな音量低下を防ぐため、全体の出力レベルを調整できます。

• DEVIATE

Deviateは、よりはっきりとした効果を生み出すモードで、特にソロ演奏に効果的です。

オンにするとLEDが青から赤に変わり、Detuneコントロールの機能に影響を与えます。デュアル・ピッチシフトが有効になり、3つのコーラス・ボイスを生成します。これにより、まるで3人が同時に演奏しているかのような、さらに深みのあるサウンドが得られます。

Deviateモード時：

Detuneは2つのボイスのピッチをコントロールします。12時位置から上げると、一方のボイスはシャープ方向へ、もう一方はフラット方向へ変化します。下げた場合も、一方はシャープ方向へ、もう一方はフラット方向へ変化しますが、その変化率が異なります。

• BYPASS

バッファード・バイパスを採用しています。これにより、トゥルー・バイパスで起こりがちなポップノイズやクリックノイズ、複数のペダルを接続した際の高域劣化といった問題を軽減します。また、他方式のスイッチング回路で起こる信号ロスも抑えます。

■ 電源について

標準的な9Vアルカリ電池を使用します。※電池は付属していません。

注意： Inputジャックにプラグを接続すると、バッテリーが作動します。節電のため、使用しないときはプラグを抜いてください。

消費電流：約65mA

バッテリー駆動時間：約10時間

DCパワーサプライのみを使用してください。

指定外の電源を使用すると、本機が破損し、保証対象外となる場合があります。

DCパワーサプライ仕様

- ・ 9V DC安定化電源
- ・ 100mA以上
- ・ 2.1mm センターマイナス

■ 重要な注意事項

1) レスポンスについて

Geddy Lee Signature Amalgamation Chorus は非常に反応の良いペダルです。各コントロールは通常よりも感度が高く、一般的な範囲を超えた効果を発揮することがあります。

2) LEDインジケータについて

バッテリー残量が少なくなると、LEDの明るさが目に見えて暗くなります。消費電流は65mAです。新品のバッテリーでは、約10時間の連続使用が可能です。これはフルライブに十分対応できる時間です。

バッテリー寿命を延ばすため、休憩中や使用していないときは本機からプラグを抜いてください。環境にやさしく、安定した動作を確保でき、バッテリー代の節約にもなるため、パワーサプライの使用をおすすめします。また、最後にいつバッテリーを交換したかを気にするストレスも軽減できます。

3) 仕様変更について

継続的な製品開発および改良により、本機の仕様および外観は予告なく変更される場合があります。

